

第一章 疾病患者の評価

導入

傷病者の分類：疾病と外傷

医学的評価の構成要素

状況評価
初期評価
重点的な病歴聴取と身体所見
詳細な身体所見（状態と時間に依存）
継続評価

状況評価

感染防御
現場の安全
原因の確認
傷病者の数
応援要請
テロへの対応
現場への侵入

生理学的安定と不安定

全体の印象	気道の問題
	無呼吸または呼吸異常
	脈拍触知不可
意識／神経の評価	自発的眼球運動無し
	自発運動または痛み刺激に反応無し
	年の見当識無し
	指とつま先の指示運動応じず
気道の評価	気道保護ができない意識障害
	喘鳴、うがい音などの気道狭窄音
	舌、吐物、分泌物、血液、異物による閉塞

呼吸の評価	無呼吸 呼吸数 < 8、 > 30 呼吸音の消失または減弱 換気がわずかもしくは消失または不規則 肋間、胸骨上窩、鎖骨上窩の牽引呼吸
循環の評価	末梢及び中枢の脈拍減弱または消失 脈拍数 < 60、 > 100 不整脈 爪、皮膚、手掌の蒼白またはチアノーゼ 冷たく湿潤した皮膚

初期評価

全体の印象	主訴の確認 生命危機の確認 体位管理 他の情報（年齢、性別、特別な既往歴）
意識の評価	A; patient is alert V; patient responds to verbal stimuli P; patient responds to painful stimuli U; patient is unresponsive
気道の評価	意識の有無 気道の確保
呼吸の評価	呼吸が適切か否か 酸素療法の必要性
循環の評価	脈拍 大出血の確認 末梢循環の評価（含キャピラリーリフィル）
優先順位の決定	腹痛、圧痛、膨満、筋性防御 筋肉痛以外の急性背部痛、側副部痛 > 60 歳 消化管出血 大量血尿 大量喀血

喘鳴
 肺雑音（湿性ラ音）
 急性胸痛＞35歳
 不適切な発汗
 立ちくらみ＞65歳
 急性の強い頭痛
 突然の運動麻痺 嚥下障害、発語障害
 顔面麻痺、四肢麻痺

 痙攣
 失神
 溺水
 電撃症または雷撃症
 腐食性物質の誤飲
 中毒
 薬物過量
 四肢の脈拍消失
 明らかな黄疸
 髄膜刺激症状を伴う項部硬直
 分娩、切迫出産
 合併症妊娠
 大量膣出血
 急性陰嚢痛
 吐血

重点的な病歴聴取と身体所見

意識のある患者	病歴収集 重点的な医学的所見 バイタルサイン
意識のない患者	迅速な医学的評価 バイタルサイン 病歴収集

<p>病歴収集</p>	<p>主訴 現病歴 O; onset/setting P; palliation/provocation Q; quality R; radiation/location S; severity/intensity T; time/duration 関連する訴え 既往歴 S; signs and symptoms A; allergies M; medication P; past medical history L; last oral intake E; events prior to illness 現在の健康状態</p>
<p>重点的な医学的所見</p>	<p>傷病者の主訴に必要な身体所見 神経 GCS CPSS LAPSS</p>
<p>迅速な医学的所見</p> <p>追加すべき機器</p>	<p>頭部評価 頸部評価 胸部評価 腹部評価 骨盤評価 四肢評価 背部評価 心電図（心筋梗塞が疑われれば 12 誘導） パルスオキシメータ 血糖値</p>

バイタルサイン	呼吸 脈拍 皮膚 血圧 瞳孔
現場での鑑別診断	可能性と蓋然性

詳細な身体所見

生命に影響のない全ての身体所見（状態が良く時間があれば）

継続評価

初期評価の繰り返し
バイタルサインの再評価
他の訴えに対する評価
処置の効果確認
傷病者の状態が改善傾向か増悪傾向か

- 第二章 気道管理、換気と酸素療法
- 第三章 静脈路確保と薬剤投与
- 第四章 循環不全（ショック）
- 第五章 呼吸困難、呼吸障害と呼吸不全
- 第六章 胸部不快感と胸痛
- 第七章 意識障害
- 第八章 急性腹痛
- 第九章 消化管出血
- 第十章 痙攣
- 第十一章 失神
- 第十二章 頭痛、嘔気と嘔吐
- 第十三章 シナリオ

